

10周年企画

2008夏 連続講演会

8月2日(土) 午後1時30分～2時30分
「羅臼のシャチはよみがえる」

※前号で宇仁さんの講演を
3日(日)とお知らせしましたが、
2日(土)に変更します。

講師 宇仁義和さん(東京農業大学生物産業学部准教授)

2005年2月、羅臼町の海岸で流水に閉じ込められて12頭のシャチが
集団死しました。この事件をきっかけに北海道の海にいるクジラ類
のことが見直されています。北海道の
クジラを知ろう。

小学校高学年以上向け。



8月9日(土) 午後1時30分～2時30分
「古生物はどうやって復元するか」

講師 犬塚則久さん(東京大学医学部解剖学)

デスモチルスの研究を続けて35年。「犬塚復元」は世界の研究者が注
目しています。アショロアの名付けの親。日本テレビ「世界一受けたい
授業」にも出演し、動物の体を知りつく
したお話は芸術的・・・講師は東京芸術
大学の講師もつとめる。

一般向け・・・小中学生もどうぞ。



8月3日(日)～8日(金) 午後1時30分～2時

- ◇ヒゲを発明したクジラ
- ◇デスモチルスの謎
- ◇カバとクジラとデスモチルス
- ◇ナウマンゾウとマンモスゾウ
- ◇十勝の平野と足寄の山

講師は当館 澤村館長がつとめます。

午後1時ころにその日の話題を来館者に決めていただきます。



足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 電話 0156-25-9100 ファックス25-9101

Eメール staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

ホームページ <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp> (博物館だよりpdf版あり)

No. 94

2008年7月23日発行

足寄動物化石博物館 開館から10年

開館以来10年間、足寄動物化石博物館はなにをしてきたのか、連載しています。

5 この10年にわかったこと(3)

足寄動物(化石)群は、ヒゲクジラ(すべて歯のあるヒゲクジラ)とともに、十数個体のハクジラ(歯鯨類)が含まれます。

○ハクジラ類の特徴

現生のハクジラ類は、アゴに歯があり、超音波をだして周囲のものやエサになる動物を探る能力をもっています。この能力はハクジラの最古のものもすでにもっていました。茂螺湾の化石の時代、およそ2500万年前には、いきなりたくさんのハクジラが出現したと考えられています。しかし、その多くは2000万年前には絶滅してしまい、そのあと現在繁栄していて種類の多いイルカの仲間が進化しました。そんなことから、茂螺湾のハクジラ類は現生の種類との関係がつかみにくく、研究の第一歩である分類(種類を決める)するのに苦労しています。

いくつかわかってきたこと(本格的にはこれからの課題です)。

- ①ガンジスカワイルカの仲間にあたる種類が3体あります。一つは、世界中で発見されているスクアロドンです。数個の歯がついたアゴの一部があります。もうひとつは、細くとがった歯がたくさん生えている種類です。歯だけ見るといまのガンジスカワイルカに似ています。
- ②アカボウクジラの祖先の可能性が高い標本があります。そうだとするとアカボウクジラの仲間では世界最古となります。



スクアロドンの歯



アカボウクジラの可能性のある頭骨

休館日 || 8月 全日開館します

博物館の動き 8月 (館の行事や職員の動き、来館団体、など)

2日 講演会「羅臼のシャチはよみがえる」
幕別町少年団リーダー研修

3日～8日 講演会
「デスモスチルスのなぞ」など

5日 帯広市東エリア児童保育センター

6日 帯広市東エリア児童保育センター

7日 中札内放課後クラブ
十勝小・中学校長会教育研究大会
において講演(幕別町、館長出張)

9日 講演会「古生物はどうやって
復元するか」

21日 温根湯中学校のみなさん

24日 網走第2中学校のみなさん

西春別小学校のみなさん

27日 別海小学校のみなさん

28日 計根別小学校・養老牛小学校のみなさん

29日 阿寒湖小学校のみんな、